

ハセッパ水とは

ハセッパ水は次亜塩素酸ナトリウムに塩酸を混ぜ、pH調整（弱酸性に）して安全性と除菌・消臭の働きを高めていますので、強力な除菌力と消臭力をもちながら、人体にも安全な除菌消臭剤です。

※ハセッパ水と次亜塩素酸ナトリウムそのものとは性質も安全性も違います。

1. ハセッパ水の除菌力

次亜塩素酸ナトリウムの除菌力の決め手は『次亜塩素酸（HClO）』にあり、次亜塩素酸を多く含むほど除菌力が上がります。次亜塩素酸（HClO）はpHによりその含有量が変わり、次亜塩素酸を多く含んだハセッパ水は除菌力が高くなります。様々な実験結果から、ハセッパ水は次亜塩素酸ナトリウムの10倍程度の除菌・消臭力があるとされています。

ハセッパ水50ppm > 次亜塩素酸ナトリウム500ppm

（次亜塩素酸水として販売されている商品には、電解水も含まれますが塩素濃度は平均30ppm程度です—当社調べ。

また、新型コロナウイルスに有効というデータでの塩素濃度は北海道大学で40ppm、NITEが49ppmとなっています）

2. ハセッパ水の安全性

ハセッパ水を安心して使っていただくために、下記の7項目についてテストをしました。

（財団法人食品農医薬品安全性センター報告による。）

試験項目		
誤って飲んだら	→ 単回経口投与毒性実験	→ 異常なし
皮膚への影響は	→ 皮膚一時刺激試験	→ 刺激性なし
	→ 皮膚累積刺激性試験	→ 刺激性なし
目に入ったら	→ 眼刺激性試験	→ 刺激性なし
アレルギーは	→ 感作性試験	→ 感作性なし
細胞への影響は	→ コロニー形成阻害試験	→ 問題はない
発がん性は	→ 復帰突然変異試験	→ 誘起する作用なし

次亜塩素酸(HOCl)は有機物と反応すると水にもどる性質がある（残留性がない）ため、次亜塩素酸を大量に含むハセッパ水は安全です。原料である次亜塩素酸ナトリウムを水のみで希釈すると次亜塩素酸が少量しか含まれていないため残留性があり、危険性を伴います。

（次亜塩素酸水として販売されている商品には、次亜塩素酸ナトリウムを水で希釈しただけの物も含まれています）

<空間噴霧時の安全性>日本産業衛生学会の勧告値塩素ガスの許容濃度は1ppm以下となっています。ハセッパ水を約6畳程度の狭い空間で、換気もせず1時間4Lと大量の霧を発生させる劣悪な環境でも、許容濃度の1/100以下ですので、ハセッパ水を空間噴霧しても人体に問題がありません。

上記噴霧室内に1時間いたとき、霧（水粒）として吸入する塩素量は、約40mLの水道水（コップ1/5の微量）の塩素量と同じです。※通常の噴霧器の能力は500ml/h程度です。

噴霧溶液のpHと有効塩素濃度	塩素発生濃度（実測値）	
	30分後	60分後
pH5.89 500ppm	0.10ppm	0.12ppm (0.36%) *
pH5.82 200ppm	0.02ppm	0.07ppm (0.53%) *
pH5.95 100ppm	0.01ppm 以下※	0.01ppm (0.53%) *
pH5.82 50ppm	0.01ppm 以下※	0.01ppm 以下※